

岩手県国際リニアコライダー推進協議会のCERN（セルン）視察について

1 主催

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

2 視察に係る期間（全体）

平成25年4月10日（水）～15日（月）

3 視察目的

CERNの実験・研究者の生活環境を調査することにより、ILCの東北誘致に向けた今後の施策立案等に役立てるとともに、日本の候補地の取組をアピールする。

- ① ILCのモデルとなる施設として、ジュネーブにあるCERNを視察（4月11～12日）
【内容】CERN要人との面談、ATLAS（アトラス）測定器見学、現地日本人研究者との懇談など
- ② ILCを核とした国際学術都市形成のモデルとなる自治体として、フランスのフェルネーポルテール市を視察（4月12日）
- ③ 現地の研究生活などについて日本人研究者と情報交換（フランクフルト）（4月13日）

4 視察者

- ・ 岩手県国際リニアコライダー推進協議会：元持会長等15名
 - ・ 自治体等：上野副知事、谷藤盛岡市長、小沢奥州市長、勝部一関市長等12名
 - ・ 報道機関：（4社）6名
 - ・ その他：添乗員2名
- 計 35名

5 面談予定（4月12日）のCERN要人

- ① Lyn Evans氏（新国際推進・設計組織（LCD）のディレクター）
- ② Steinar Stapnes氏（CLIC（ILCの次の世代の加速器計画）のディレクター）
- ③ Doris Chromek-Burckhart氏（ユーザーズオフィスのリーダー）